

財務諸表

(令和 6 年度)

- 資金収支計算書
- 事業活動収支計算書
- 貸借対照表
- 財産目録
- 監事監査報告書
- 事業報告書

資 金 収 支 計 算 書

令和 6年 4月 1日 から

令和 7年 3月 31日 まで

(単位 : 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	958, 153, 000	857, 005, 582	101, 147, 418
手数料収入	16, 820, 000	15, 407, 070	1, 412, 930
寄付金収入	1, 000, 000	2, 283, 000	△ 1, 283, 000
補助金収入	148, 664, 000	148, 825, 292	△ 161, 292
資産売却収入	150, 000, 000	303, 662, 745	△ 153, 662, 745
付随事業・収益事業収入	13, 000, 000	19, 738, 032	△ 6, 738, 032
受取利息・配当金収入	9, 000, 000	6, 816, 182	2, 183, 818
雑収入	28, 000, 000	32, 301, 343	△ 4, 301, 343
借入金収入	72, 000, 000	66, 000, 000	6, 000, 000
前受金収入	620, 612, 000	552, 495, 618	68, 116, 382
その他の収入	285, 000, 000	358, 032, 912	△ 7, 302, 912
資金収入調整勘定	△ 698, 000, 000	△ 699, 465, 596	1, 465, 596
前年度繰越支払資金	910, 200, 000	907, 882, 232	
収入の部 合計	2, 514, 449, 000	2, 570, 984, 412	△ 56, 535, 412
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	411, 100, 000	405, 644, 724	5, 455, 276
教育研究経費支出	199, 110, 000	187, 171, 253	11, 938, 747
管理経費支出	208, 259, 000	150, 181, 704	58, 077, 296
借入金等利息支出	3, 900, 000	5, 443, 188	△ 1, 543, 188
借入金等返済支出	20, 000, 000	20, 004, 000	△ 4, 000
施設関係支出	215, 000, 000	251, 141, 260	△ 36, 141, 260
設備関係支出	14, 000, 000	8, 497, 100	5, 502, 900
資産運用支出	260, 000, 000	392, 055, 268	△ 132, 055, 268
その他の支出	350, 000, 000	449, 226, 978	△ 99, 226, 978
資金支出調整勘定	△ 215, 000, 000	△ 216, 582, 701	1, 582, 701
翌年度繰越支払資金	1, 048, 080, 000	918, 201, 638	129, 878, 362
支出の部 合計	2, 514, 449, 000	2, 570, 984, 412	△ 56, 535, 412

事業活動収支計算書

令和6年4月1日から

令和7年3月31日まで

(単位:円)

教育活動 収支	事業活動 収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		学生生徒等納付金	958,153,000	887,427,932	70,725,068	
		手数料	16,820,000	18,043,690	△ 1,223,690	
		寄付金	1,000,000	2,315,000	△ 1,315,000	
		経常費等補助金	12,000,000	5,522,192	6,477,808	
		国庫補助金	0	0	0	
		地方公共団体補助金	12,000,000	5,522,192	6,477,808	
		付随事業・収益事業収入	13,000,000	15,281,644	△ 2,281,644	
		雑収入	28,000,000	32,834,183	△ 4,834,183	
		教育活動収入計	1,028,973,000	961,424,641	67,548,359	
教育活動 収支	事業活動 支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		人件費	411,100,000	405,191,989	5,908,011	
		教育研究経費	199,110,000	190,821,653	8,288,347	
		管理経費	271,235,000	250,998,152	20,236,848	
		徴収不能額等	0	0	0	
		教育活動支出計	881,445,000	847,011,794	34,433,206	
		教育活動収支差額	147,528,000	114,412,847	33,115,153	
教育活動 外収支	事業活動 収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		受取利息・配当金	14,000,000	7,260,073	6,739,927	
		その他の教育活動外収入	3,000,000	4,455,068	△ 1,455,068	
		教育活動外収入計	17,000,000	11,715,141	5,284,859	
	事業活動 支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		借入金等利息	3,000,000	5,443,188	△ 2,443,188	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出計	3,000,000	5,443,188	△ 2,443,188	
		教育活動外収支差額	14,000,000	6,271,953	7,728,047	
		経常収支差額	161,528,000	120,684,800	40,843,200	
特別 収支	事業活動 収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資産売却差額	10,000,000	32,669,473	△ 22,669,473	
		その他の特別収入	140,000,000	143,303,100	△ 3,303,100	
		特別収入計	150,000,000	175,972,573	△ 25,972,573	
	事業活動 支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資産処分差額	12,000,000	284,617,543	△ 272,617,543	
		その他の特別支出	0	0	0	
		特別支出計	12,000,000	284,617,543	△ 272,617,543	
		特別収支差額	138,000,000	△ 108,644,970	246,644,970	
		基本金組入前当年度収支差額	299,528,000	12,039,830	287,488,170	
基本金組入額合計		△ 0	△ 1,067,003,508	1,067,003,508		
当年度収支差額		299,528,000	△ 1,054,963,678	1,354,491,678		
前年度繰越収支差額		0	△ 337,434,370	337,434,370		
基本金取崩額		0	614,045,631	△ 614,045,631		
翌年度繰越収支差額		299,528,000	△ 778,352,417	1,077,880,417		
(参考)						
事業活動収入計		1,195,973,000	1,149,112,355	46,860,645		
事業活動支出計		896,445,000	1,137,072,525	△ 240,627,525		

貸 借 対 照 表

令和 6年 4月 1日 から

令和 7年 3月31日 まで

(単位 : 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	3,385,737,649	3,335,152,910	50,584,739
有形固定資産	2,613,644,163	2,663,458,171	△ 49,814,008
特定資産	0	0	0
その他の固定資産	772,093,486	671,694,739	100,398,747
流動資産	1,018,991,277	1,066,299,328	△ 47,308,051
資産の部合計	4,404,728,926	4,401,452,238	3,276,688
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	645,996,000	600,000,000	45,996,000
流動負債	702,861,757	757,620,899	△ 54,759,142
負債の部合計	1,348,857,757	1,357,620,899	△ 8,763,142
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	3,834,223,586	3,381,265,709	452,957,877
第1号基本金	3,008,627,225	3,328,026,996	△ 319,399,771
第2号基本金	763,570,000	0	763,570,000
第4号基本金	62,026,361	53,238,713	8,787,648
繰越収支差額	△ 778,352,417	△ 337,434,370	△ 440,918,047
翌年度繰越収支差額	△ 778,352,417	△ 337,434,370	△ 440,918,047
純資産の部合計	3,055,871,169	3,043,831,339	12,039,830
負債及び純資産の部合計	4,404,728,926	4,401,452,238	3,276,688

財産目録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目		金 額	
【資産の部】			
1 土地			
町田市森野2-1251-2	461.71m ² H3/8	759,900,000	
港区南麻布4-57-21	35.93m ² H18/2	65,776,993	
町田市森野1-1033-18	448.26m ² H21/11	171,549,102	
町田市森野1-1058-13	333.44m ² H25/7	88,000,000	
町田市森野1-1058-13	上記追加工事 H26/5	1,606,575	
町田市森野2-1253-1	226.64m ² R4/3	133,979,304	
町田市森野2-1254-3	117.26m ² R4/4	42,290,000	
町田市森野2-1254-5	184.11m ² R4/10	154,560,000	
		1,417,661,974	
2 建物			
	取得価格計 減価償却累計額	773,007,126 129,013,474	643,993,652
3 建物付属設備			
	取得価額 減価償却累計額	343,578,058 156,131,085	187,446,973
4 構築物			
	取得価額 減価償却累計額	18,088,681 9,000,777	9,087,904
5 車両			
	取得価額 減価償却累計額	3,497,363 3,497,361	2
6 教育研究用機器備品			
	取得価額 減価償却累計額	45,464,032 39,985,381	5,478,651
7 管理用機器備品			
	取得価額 減価償却累計額	113,378,645 49,258,695	64,119,950
8 機械及び装置			
	取得価額 減価償却累計額	10,977,586 5,026,290	5,951,296
9 建設仮勘定			279,673,760
10 一括償却資産			
	取得価格 減価償却累計額	1,640,000 909,999	730,001
11 減価償却累計額			393,323,062
有形固定資産合計			2,613,644,163
12 差入保証金			1,670,400
13 電話加入権			509,600
14 施設利用権			16,500,000
15 ソフトウェア			1,660,000
16 電子マネー保証金			14,000
17 出資金			34,510,000
18 有価証券			583,350,149
19 営業権			19,047,619
20 保険積立金			113,831,718
21 無形固定資産			
	取得価格 減価償却累計額	1,000,000 500,000	500,000
その他固定資産合計			
固定資産合計			772,093,486
22 現金及び預金			3,385,737,649
現 金		654,296	
普通預金		617,346,147	
定期預金		300,201,195	
		918,201,638	
23 未収入金			56,297,163
24 貯蔵品			71,390
25 前払金			4,385,366
26 仮払金			249,199
27 立替金			431,705
28 繰延消費税			39,354,816
流動資産合計			1,018,991,277
	(資産合計)		4,404,728,926

財産目録
令和7年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	金 額
【負債の部】	
29 長期借入金	645,996,000
30 カード未払金	1,666,978
31 未払金	21,373,393
32 未払消費税	6,145,500
33 前受金 (授業料・実習費・教材費)	
介護科	26,097,300
SII	204,725,759
SII短期	7,555,258
PSII	96,385,319
P短期	48,692,632
柔道整復科	102,672,550
鍼灸科	135,651,300
保育学科	38,529,602
32 預り金	660,309,720
(負債合計)	13,366,166
	1,348,857,757
(差引正味財産)	3,055,871,169

上記のとおり報告いたします

令和7年5月30日 学校法人 西田学園

理 事 長 西 田 忠 康

監 査 報 告 書

令和 7 年 5 月 28 日

学校法人 西田学園
理事長 西田忠康 殿

学校法人 西田学園

監事 岩崎紳之助



監事 佐藤 賢一



私たちは、学校法人西田学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項及び寄附行為第 29 条第 1 項に基づいて同学園の令和 6 年度（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び附属明細書）を含め、学校法人の業務及び財産の状況並びに理事の業務執行の状況について監査を行いました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、理事の業務執行は適切であり、学校法人の業務及び財産並びに理事の業務執行に関し、不正の行為または法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以 上

令和 6 年度 事業報告書

(令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月)

学校法人 西田学園

■ INDEX ■

I. 法人の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2～

- (1) 基本情報
- (2) 建学の精神、基本理念、 α ロゴへの想い、MVV
- (3) 沿革
- (4) 設置する学校・学科・コース・修業年限・定員・現員数
- (5) 教職員数

II. 事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6～

- (1) 法人部門
 - ①校舎の増改築、設備
 - ②産学連携交流会
 - ③補助金および助成金
 - ④ICT化の推進
 - ⑤就業環境の整備、拡充
 - ⑥経理業務の効率化
- (2) 教育部門／アルファ医療福祉専門学校
 - ①学生募集 1) ~2)
 - ②教育活動&イベント 1) ~5)
 - ③学生支援 1) ~3)
 - ④国家試験対策 1) ~2)
 - ⑤就職 1) ~3)
 - ⑥学校セレモニー&イベント 1) ~2)
- (3) 中期計画の概要

I. 法人の概要

(1) 基本情報

①法人の名称	学校法人西田学園
②法人の所在地	東京都町田市森野 2-1 5-13 (2号館) 〒194-0022
③主たる事務所	東京都町田市森野 1-7-8 (1号館) 〒194-0022
	電話 : 042-729-106 FAX : 042-721-8411
④公式サイト	https://alpha-net.ac.jp/

(2) 建学の精神、基本理念、MVV

【建学の精神】

自律から自立へ

今何をすべきなのか、明日に備えて今日は何を達成すべきなのか。

5年後 10年後に備えて今の自身に課すべき課題は何なのか。

自分が理想とする自立の姿を実現するために、自分を厳しく律することが大切です。

学ぶ過程にある学生にとって自覚すべき重要な課題は、自律することです。

本学校で自身の目標を追求する先輩たちには、自律から自立への強い信念が漲っています。

【基本理念】

新しいものや変化に柔軟であること <Flexible>

新たなテクノロジーや社会の変化に対して、敏感な感性を持って客観的に捉え、変化を恐れず、柔軟に適応すること。価値を最大化する <Value>

新たな価値を創出することや、あらゆる既存の価値を再評価することによって、社会の幸福に寄与し、また自分自身の価値を知り、自己研鑽によって高めつつ、自己実現を果たすこと。

つながりを大切にする <Relation>

共生社会の実現を目指し、多様な価値観を尊重すること、また出会いや他者への想像力を大切にしつつ、あらゆるつながりを活かして共に成長すること。

【αロゴへの想い】



本校のロゴマークは「無限大の可能性」というコンセプトを表しています。

ギリシャ文字の最初の文字である「α」をベースに、ロゴマークの右側の余白部分に「∞(無限大)」を想起させるデザインとなっています。

多様なキャリア形成を目指す学生が、本校を通じて様々な可能性を見出して頂きたいという想いを、このロゴマークに込めていました。

【ミッション、ビジョン、バリュー】

Mission	私たちの使命
私たちが関わるすべての人の成長のために 私たちは、学生・地域社会・教職員と、ともに成長できることうを追求します。	
Vision	私たちのるべき姿
学びを求める人へ 可能性を拓げようとする意欲を尊重し、次代を生き抜く力を獲得できる場となる 地域社会へ 社会を豊かにできるひとを育み、人々の幸せと発展に寄与する すべての人へ 人やコミュニティ同士のつながりを創り強めるハブとして機能する	
Value	私たちが大切にする価値観
「相乗効果」 互いを知り、働きかけあうことで、思いつかない効果と結果を生む 「進歩主義」 変化を止めることなく、貪欲に行動し、過去を超える 「バランス感覚」 視座を自在に移し、多様な可能性から最適策を選択する	

(3) 沿革

- | | |
|---------|----------|
| ①創業 | 1979年 |
| ②学校法人認可 | 1986年 2月 |
| ③学校創立 | 1999年12月 |

- 1979年 西田学園の前身トフルアカデミーとして、日本初の海外大学院留学指導コース開設
TOEFL/GMAT/GRE の得点力強化講座開講
- 1980年 海外帰国子女のための国内大学進学コース開設 / 上智大・慶應大・早稲田大など、私立大学進学コース開設
- 1986年 学校法人 西田学園設立 / 東京都町田市にソフィア早慶予備校設置
- 1992年 ソフィア早慶予備校町田東校を新設 / 私立大学進学コースを増設
- 1999年 アルファ福祉専門学校設置（東京都認可） / 介護福祉士科を開設（厚生労働省指定）
/ 介護福祉士国家資格取得コースを開講
- 2000年 ホームヘルパー養成コース開講（東京都知事許可）
- 2001年 社会福祉士通信科、精神保健福祉士通信科開設（厚生労働省指定）
- 2008年 アルファ附属治療院開設（はり・きゅう・整骨・接骨）
- 2009年 アルファ医療福祉専門学校に改名 / 柔道整復学科、鍼灸学科開設（厚生労働省指定）
- 2010年 アルファ医療福祉専門学校 1号館 建替え
- 2013年 介護職員初任者研修開講（東京都知事許可）
- 2014年 こども保育学科開設（厚生労働省指定） / アルファ医療福祉専門学校 3号館 新設
/ アルファ医療福祉専門学校 2号館 改装リニューアル
- 2015年 介護福祉 実務者研修開講（東京都知事許可）
- 2016年 学園創立30周年記念式典
- 2019年 介護福祉学科、こども保育学科が職業実践専門課程に認定 / 学校創立20周年記念式典
- 2020年 柔道整復学科、鍼灸学科が職業実践専門課程に認定 / ALPHA LOUNGE 1号館 新設
- 2024年 アルファ医療福祉専門学校 4号館 新設

(4) 設置する学校・学科・コース・修業年限・定員・現員数

①学校名：アルファ医療福祉専門学校

②所在地：1号館／〒194-0022 東京都町田市森野1-7-8

2号館／〒194-0022 東京都町田市森野2-15-13

3号館／〒194-0022 東京都町田市森野1-10-18

4号館／〒194-0022 東京都町田市森野2-31-2

③通学制／学科・定員・現員数

令和6年4月1日現在

No.	学科名	修業年限	入学定員	総定員	現員数
1	柔道整復学科	3年	60名	176名	128名
2	鍼灸学科	3年	60名	120名	106名
3	こども保育学科	2年	50名	100名	107名
4	介護福祉学科	2年	35名	70名	60名
合計			205名	466名	401名

④通信制／学科・コース・定員・現員数

令和6年5月1日現在

No.	コース名	修業年限	入学定員	総定員	現員数
1	社会福祉士通信科 一般養成コース	1年6ヶ月	500名	1000名	830名
2	社会福祉士通信科 短期養成コース	9ヶ月	80名	80名	57名
3	精神保健福祉士通信科 一般養成コース	1年7ヶ月	300名	600名	364名
4	精神保健福祉士通信科 短期養成コース	9ヶ月	360名	360名	249名
合計			1,240名	2,040名	1,500名

(5) 教職員数

①教員 本務（常勤） 28名
兼務（非常勤） 126名

計 154名

②職員 本務（常勤） 36名
(非常勤) 11名

計 47名

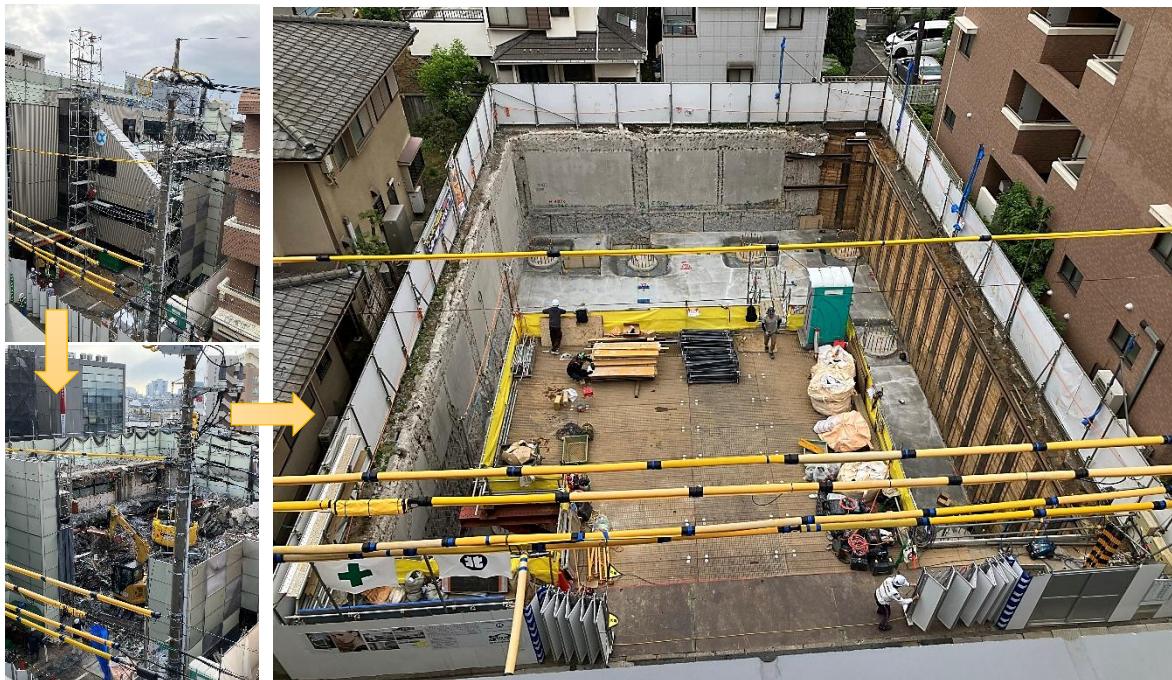
II. 事業の概要

(1) 法人部門

①校舎の増改築、設備

- ・2号館：増改築工事（防音補助事業）

令和6年9月解体開始→令和7年2月新築工事開始→令和8年2月竣工予定



(R7/5/1 時点 photo)

- ・4号館：太陽光設備工事（防音補助事業）

令和6年10月完了



②アルファ産学連携交流会 2024

- ・開催日：令和6年10月24日
- ・場所：横浜モノリス<YOKOHAMA MONOLITH>
- ・参加数：106名／77事業所（医療・福祉・保育等の事業者）

柔整：28名／18事業所 鍼灸：10名／7事業所

保育：13名／9事業所 介護：32名／25事業者 通信：23名／18事業所

(ご案内リーフレット)



(当日の様子)



③補助金および助成金

- | | | |
|------------------------------|----------|------------|
| ・防衛省防音補助事業 4号館補助金（太陽光設備） | 防衛省 | 6,658 千円 |
| ・防衛省防音補助事業 2号館補助金（年割額／令和6年度） | 防衛省 | 136,664 千円 |
| ・私立専修学校教育環境整備費補助金（専修学校評価促進） | 東京都 | 200 千円 |
| ・私立専修学校職業実践専門課程推進補助金 | 東京都 | 1,970 千円 |
| ・私立専修学校教育環境整備費助成事業 | 東京都私学財団 | 3,193 千円 |
| ・私立学校授業目的講習送信保証金助成事業 | 東京都私学財団 | 159 千円 |
| ・高等教育就学支援新制度（授業料減免交付金） | 日本学生支援機構 | 18,367 千円 |

合計 167,211 千円

④ICT化の推進

- ・医療学科向け 3D 骨格標本ソフト導入<助成金利用>
- ・企業連携促進の為、顧客管理システム導入
- ・ランサムウェア対策としてウイルス対策ソフト切り替え実施
- ・労務/人事/WF 管理システムの移行
- ・学生向け PC 販売案内（業者）移行サポート
- ・教職員に向けて生成 AI の活用セミナーを実施（右記写真参照）
- ・学生の ICT 資格取得サポート/合格者延べ 13 名



⑤就業環境の整備、拡充

1) 福利厚生/労務管理

- ・勤怠管理を新システム「ジョブカン」に刷新し業務効率の向上とコストの削減
- ・アスクルや Amazon ビジネスの契約を見直しコストの削減
- ・町田市民ホール「森のレストラン」と提携し飲食割引や学内弁当販売など食環境の充実
- ・総務課主催の外部講師を招いた研修を実施しコミュニケーションと心理的安全性の向上
- ・寄付金を活用して防災備蓄品や防災スタンドを導入し有事に備えた

2) 産休取得者への対応

- ・産休取得者は 6 名、うち復職者 3 名（パパ育休 1 名を含む）
- ・R5 年度～継続し社労士の助力を頂き保険料掛金免除、育児休業給付金等のサポート実施
- ・法改正に伴う申請要件の変更、新たな給付金制度の施行について連携して休業者への情報提供に努めた



⑥経理業務の効率化

- ・銀行における一部地方公共団体の『窓口収納』業務取り扱い終了に伴い電子納税に切り替え→時間的拘束がなくなり新たに業務時間の確保を実現

（2）教育部門／アルファ医療福祉専門学校

①学生募集

1) 主な取り組み

- ・通学制…SNS や Web 広告、高校訪問、高校進路ガイダンスの強化により、資料請求数は前年同月比 113% を達成。さらに、再来校促進施策にも注力した結果、再来校者数も 109% に増加した。
…入学数実績：178 名（前年 174 名／前年比 102.3%）
- ・通信制…今期、新たに福祉施設関係者や在校生・修了生とのリレーション強化を目的とし、ソーシャルワーク実践セミナー（オンデマンド講演会）に注力し、認知拡大を図る施策を展開した。その結果、資料請求数は昨対比 116%、出願率も 116% と大きく伸長し、取り組みの成果が数値にも大きく表れた。
…入学数実績：1,266 名（前年 1,064 名／前年比 118.9%）

2) 出願の状況／令和7年度生

- ・令和7年4月1日時点（※通信制：5月1日時点）

学 科	募集定員	入学数	前年度	前年比
柔道整復学科	60名	40名	47名	85.1%
鍼灸学科	60名	57名	48名	118.7%
こども保育学科	50名	50名	52名	96.1%
介護福祉学科	35名	31名	27名	114.8%
通学計	205名	178名	174名	102.3%
社会福祉士通信科	780名	690名	565名	122.1%
精神保健福祉士通信科	660名	576名	499名	115.4%
通信計	1140名	1,266名	1,064名	118.9%

②教育活動

1) 柔道整復学科

- ・キャノンイーグルス（6月3日）…スポーツトレーナーを目指す学生が実際の現場を体験し、必要な知識や技能を学ぶことを目的としている。2・3年生対象のトレーナー講習会では、ラグビー現場での実践的なテーピング技術を学び、個別対応の工夫を体験した。1年生対象のクラブハウス見学会では、トレーナーの業務内容を理解し、職業意識を高めた。事後アンケートでは、知識の応用力やコミュニケーションの重要性に気づいたという声が多く、学生にとって大きな学びとなったことがうかがえた。試合観戦も含めたイベントを通じ、トレーナーとしての役割や課題を体感できる貴重な機会となった。



- ・ホームカミングデー（9月12日）…卒業生同士の交流を深めること、新しい校舎の公開、学校への意見集約を目的に開催した。企画として、4号館の施設見学、ラジオ波治療機の体験会、先生方との懇談会が行われた。卒業生からは、4号館でのセミナー開催希望、社会人としての基本マナー教育の要望、図書館の利用改善提案など、多様な意見が寄せられた。また、卒業後も学び続けたいという声や、指導者講習会の取り組みに対する高評価もあった。現場経験を通じて授業の価値を再認識した卒業生が多く、有意義な機会となった。

- ・まなびの日（9月25日）…「柔道整復師とトレーナーの事実と大切なこと」をテーマに、選手とトレーナー双方の視点から学んだ。岡本雅信先生が、新体操選手へのトレーニングやケア方法を講義し、オンラインでは元日本代表の松原梨恵さんと山口瑠奈さんが競技生活やトレーナーに求めることを語る。学生からの質問も受け付けられ、実践的な知識を深める機会となった。参加した学生は、トップアスリートから直接話を聞けたことに感銘を受け、将来の柔道整復師としての学びに役立つと感じた。貴重な経験を通じて、選手を支える立場の重要性を理解し、実際の現場で求められる知識や技術の必要性を認識できる機会となった。



・解剖見学実習の概要（3月5日）…解剖学の理解を深め、人体への敬意と職業倫理を育むことを目的に、3月5日に鶴見大学歯学部にて解剖見学実習を実施。事前学習会は2月3日に行われ、参加学生96名が2教室に分かれ、当日指導を担当する講師から講義を受けました。当日は午前・午後の二部制で、柔整・鍼灸学科の学生計96名が5グループに分かれ、各器官についての説明を受けながら見学。実際の人体構造を目にすることで、学生からは「教科書では得られないリアルな学びだった」「医療人としての意識が高まった」との声が多く寄せられた。

2) 鍼灸学科

- ・カリキュラムの変更…年々入学してくる学生の年齢層が上がり、広報でも社会人向けの募集を打ち出したことで、卒業してある程度、「すぐに即戦力になれる人材の育成」、「開業を目指せるカリキュラム」を打ち出すこととした。重視したのは下記の3点。①就職先や実習先、編成委員の先生方からの意見も反映し、流派に関係なく必要な臨床技術、特に「触診」を重視した実技内容に変更。②日本鍼灸は卒業してから臨床で活躍できるまで10年・20年とかかるため、年齢層の高い当校には不向きとし、日本鍼灸を入れないこととした。③特色ある学生の育成のため、よりキャリア教育を重視し、多くの業界人にゲストスピーカーとして来校いただき、就職・開業・進学といった方向性を2年生から考えてももらえるよう編成。
- ・オンデマンド授業の導入…2年前に2クラス制を再開してから、厚生労働省の指定時間数を現行の時間割では賄うことができなくなったため、一部にオンデマンド授業を導入することとした。オンデマンド実施決定が遅かったこと、動画や資料の作成、UMUなど配信システムの理解など準備期間を取るため、一律11月の配信開始、3月末までの課題提出（3年生のみ2月末を提出期限）とした。また午後部の臨床実習先確保が難しかったことから、臨床実習時期に全ての座学授業をオンデマンド化し、実技授業のみの出席にすることで、1日フルでの実習時間を確保し、午前・午後問わず同一の実習先で実習を行えるようにした。昨年度のオンデマンド授業は受ける側も提供する側も慣れておらず、不具合も生じ、学生からの不満の声も上がったが、学科長が各クラスを回って説明会を設けることで、学生も取り組みを見せ、ほぼ全員の学生が課題提出を行う事が出来た。
- ・国家試験対策…終盤になっても合格ラインに到達しない学生もみられたが、午前部のみだったため、午後の時間での補習の開講ができた。学生自身の頑張りもあり、なんとか19名全員合格となった。今期からは全学年が2クラス制であるため、空き教室もなく、補講の実施が難しいため、新たな取り組みが必要。
- ・学科イベント…昨年度から「トマススタイル小児鍼」の初級講習会を在学生の希望者に実施。土日の2日間で9時間だったが、5月の初回講習会には2・3年19名が参加し、非常に好評で中級講習会の実施を求める声も上がった。今期も定期的な実施を計画している。10月には「つながりの日」を当学科でも実施した。新しい4号館に卒業生、キャリア教育の一環として在校生にも参加してもらい、卒業生には4演題をお願いし、セミナー形式を取った。4号館アルファカフェにケータリングを注文してのランチ交流会も好評のうちに終わり、次回の開催を待ち望む声も多く聞かれた。



毎年3月実施の特別講義には名古屋から銭田先生にお越しいただき、超音波で視認しながら患部への刺鍼を行う技術を披露していただいた。同日行われたランチ交流会でも積極的に質問する学生・卒業生が多数で、非常に好評だった。



・就職…4月の各学年でのキャリアガイダンスで年末までに就職を決める、を目標に掲げたことで、早くから治療院見学にいった学生も多くみられた。鍼のセイリン株式会社、国試黒本のSMSさんなどの就職説明会に多くの学生が参加するなど、早くからの就職活動がみられ、卒業までに就職率100%を達成することができた。

3) こども保育学科

- ・新入生歓迎会（4月9日）…「絵本の読み聞かせ」「手遊び歌」「アンパンマン体操」などを披露し、在校生と新入生の交流を深める機会となる。
- ・かるた大会（4月10日）…卒業生である先輩方が作成した「手作りかるた」を使い、かるた大会を実施した。
- ・課外授業（5月16日）…学校近隣の「境川緑道公園」に出かけ、春の自然を感じ、子どもの世界を体験する機会となった。
- ・ハロウィンイベント／ポエモ保育園（10月31日）…近隣の保育園児が当校に来校し、ハロウィンイベントを行った。子どもとの触れ合いを楽しむ貴重な機会となった。
- ・卒業生による講演（11月14日）…キャリアデザインの授業にて、卒業生をゲストとしてお招きし、現在保育現場で活躍している卒業生の話しを聞いた。職業理解を深める機会となった。
- ・クリスマス音楽会（11月26日）…ポエモ保育園2歳12人／町田プチ・クレイシユ4歳17人来訪、（11月29日）…たけとんぼ保育園2歳8人／プチクレイシユ5歳17人／ことりの森保育園2歳8人来訪。近隣の保育園児を当校にお招きして、子どもたちとともに音楽活動を楽んだ。合奏：「星に願いを」、歌と合奏：「あわてんぼうのサンタクロース」、シルエットクイズ、手作りのマラカスをプレゼント。実際の保育現場で行われている活動を、子どもの前で学生が実際にを行う良い機会となった。



- ・「つながりの日」卒業生対象（1月25日／卒業生32名参加）…講師として阪口慶先生をお招きして「聞かせ屋。けいたろう」絵本の読み聞かせ講座を実施した。
- また、講座終了後はラウンジで懇親会を行った。現在、保育士として活躍している卒業生にとって、プロから具体的な読み聞かせの方法を教えていただく機会は、今後の保育に役立てることのできる貴重な時間となった。
- ・卒業公演（3月5日）…卒業を機に2年間の学びの成果発表を実施した。学生からの提案により実現した。朗読劇「2年間の学び」、劇遊び「おおきなかぶ」、ダンス「ミッキーマウスマーチ」の発表を通して、保育士として活躍することへの意思表明ともいえるような場となった。



4) 介護福祉学科

- ・生活支援技術II授業に介護現場のICT化に向けてどのように変化しているのかを学ぶために、サイバーダイン社の協力をいただき6/2「HALの装着体験授業」、またパラマウントベッドの協力で7/16「眠りスキャンの説明授業」を実施。（1年生）
- ・総合学習では、認知症の症状の理解のため、株式会社ツクイ様から協力を得て3/5に「バーチャルリアリティ体験」し利用者の生活のしづらさを理解できたと好評であった。（1年生）



- ・総合学習でトヨタ自動車の協力で7/19「福祉車両の見学・モビリティ一体験」をする。

(1・2年生)



- ・10/4に「国際福祉機器展」に出かけ、さまざまな福祉用具を見学し体験する。（1年生）
- ・学びの日のイベントには「笑いヨガ」の創始者の高田佳子先生からの講話をいただき体験を通して笑うことの大切さなどの理解を深めることができた。
- ・年3回予定の「ビーチクリーン活動」を計画した。『財団法人かながわ海岸美化財団』：ビーチクリーン活動への参加対象者は学生の有志とその家族、卒業生などを対象に恒例のボランティア活動として企画している。考えられる効果：SGDsへの意識ができる。ごみ当事者としての意識を高め、ごみ問題に関心を持つことができる。清掃活動を通して、地域活動への参加及びチームワークが形成できる。天候の関係で7/6「クリクラの水工場見学」
- ・3/14「キリンビバレッジ午後の紅茶工場見学」を実施。
- ・つながりの日「ホームカミングディではケアン・シリーズ2「こころの花」を上映し、卒

業生 21 名ほど参加し、新 4 号館を見学したあとアルファカフェで在校生と親睦を深めた。

5) 通信教育学科（社会福祉士通信科、精神保健福祉士通信科）

- ・キャリアプランニング講座オンライン開催…東京キャリア形成・リスキリング支援センターと共に社会福祉士・精神保健福祉士を目指す社会人学生に向けたキャリアプランニングに関する講座を web にて開催。
- ・大田区社会福祉協議会職員研修実施…大田区社会福祉協議会より依頼を受け、職場の心理的安全性、職員同士の円滑なコミュニケーションに関する研修を通信教育学科より講師を派遣し実施した。
- ・大田区立池上長寿園職員研修実施…大田区立池上長寿園から依頼を受け、相談支援の基本を学ぶ講義と演習を 2 日間にわたって開催。
- ・令和時代におけるソーシャルワーカーの実際と専門資格の価値について web 講演会実施…独立型社会福祉士事務所を経営する当校非常勤講師の方と学科長との対談形式にて開業のポイントや社会福祉士/精神保健福祉士の資格の可能性について web 講演を実施した。
- ・インクルーシブ教育実践セミナー web 講演会実施…スクールソーシャルワークのスーパーバイザーによるインクルーシブ教育に関する講演を web 講演で実施。



- ・精神科医による講演『ソーシャルワーカー自身のメンタルヘルスについて』…現役精神科医による、ソーシャルワーカーに向けたメンタルヘルスに関する講演会をソーシャルワーカーの集いの基調講演として実施。



- ・株式会社グループホームたんぽぽ相武台より依頼『虐待防止研修』実施…修了生が運営するグループホームより依頼を受け、職員の虐待防止研修を実施。

③学生支援

1) 教職員間の連携強化

- ・教職員の連携・協働を強化し、学生たちの学習・学修の継続を全学的に支援する。

2) 主な取り組み

①全学的な対応力強化

- ・学生情報の共有強化 (info Clipper・サイボウズ活用等)
- ・研修企画/実施、外部研修情報共有
- ・外部リソースの拡充 (専門機関へのリファー・保護者との連携強化等)

②学習・学力向上へのアプローチ

- ・学習方法の提案

- ・学習サポート体制の構築（TA・学生スタッフ等）
- ・学習に関する個別面談/個別指導（学習計画の立案等）
- ・学生の学力把握、学力向上の施策検討/実施

③スムーズな学生生活開始へのアプローチ

- ・入学前相談の実施
- ・手続きや案内書面の改善（誰にでもわかりやすく）
- ・オリエンテーションの改善

④個別最適化した対応実施へのアプローチ

- ・入学前取得情報の活用（入試内容・出願資料等）
- ・アセスメントの実施・活用
- ・チームでの個別事案対応（教員・職員・SCでの連携）

3) 退学・除籍数

学 科	在籍数	退学除籍数	退学除籍率
柔道整復学科	128名	19名	14.8%
鍼灸学科	106名	9名	8.4%
こども保育学科	107名	16名	14.9%
介護福祉学科	60名	6名	10.0%
通学計	401名	50名	12.4%
社会福祉士通信科	1,003名	37名	3.6%
精神保健福祉士通信科	688名	20名	2.9%
通信計	1,691名	57名	3.3%

④国家試験対策

1) 主な取り組み

- ・直近の国家試験を分析し反映した授業カリキュラムの実施
- ・演習量の確保（模擬試験の強化、IT導入による学習効率化）
- ・個別フォローアップの実施（教員・TA・SC）
- ・自習室開放等学習環境の提供
- ・国試不合格者への支援体制強化（パッケージ化）

2) 国家資格試験の結果

- ・令和7年3月31日時点

学 科	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
柔道整復学科	28名	23名	82.1%	57.8%
鍼灸学科	19名	19名	100.0%	74.9%
こども保育学科	44名	44名	100.0%	26.9%
介護福祉学科	26名	26名	100.0%	78.3%
通学計	117名	112名	95.7%	
社会福祉士通信科（一般）	393名	311名	79.1%	56.3%
社会福祉士通信科（短期）	40名	29名	72.5%	56.3%
精神保健福祉士通信科（一般）	163名	125名	76.7%	70.7%
精神保健福祉士通信科（短期）	263名	219名	83.3%	70.7%
通信計	859名	684名	79.6%	

⑤就職

1) 主な取り組み

- ・個別相談…今期は約 400 件の就職や今後のキャリア形成に向けた個別相談を実施。就職活動の進め方や、なかなか就活に集中できなくて困っているなどの相談、企業担当者とのやり取りの仕方に関するアドバイスや、履歴書作成のサポート、面接練習も実施した。
- ・授業／特別セミナーの実施…通学制全学科全クラスにて、年度はじめにキャリア支援講座を開講。就職や進路に対する意識づけを行い、1 年次から企業説明会や施設・治療院の見学に足を運び、自身のキャリアを考える学生も多々いた。また、介護・保育の学科では 1 年次に授業「キャリアデザイン(各 15 コマ)」を担当し、モデルロールとして卒業生も招きながら、自己理解と仕事理解の 2 軸からキャリア形成に関する考えを深める支援を実施。他特別セミナーとして、柔整・鍼灸の学科では臨床実習前マナー講座を開催。保育学科では公務員として保育現場を目指す学生向けに公務員セミナーも実施した。
- ・企業対応(採用担当者面談)…今期は約 185 社の採用担当者と面談を行った。企業の特色や採用選考の傾向等の情報を取得し、学生へタイムリーに情報提供をした。
- ・新求人検索システムの導入…学校公式の求人検索システムとして「Careermap」を新しく導入し、「ASK ME」から切り替えを実施。1 都三県における求人件数は、美容学科を含め通学制 5 学科 + 通信学科合計で既に 3,000 件以上。専用スマホアプリでの求人検索を可能とし、就職活動の活性化を促した。
- ・美容学科開講に向けて…株式会社ガモウ主催の美容業界就職イベント「B-doors」へ参加。40 社程度の企業ブースへ訪問し、情報収集を行った。12 月～3 月にかけては 10 数社程度町田・相模原・横浜近郊のヘアサロンとコンタクトを図り、関係性の構築を図っている。
- ・通信学科キャリア支援…初の試みとして通信学科におけるキャリア支援をセミナー形式で実施。「東京キャリア形成リスクリングセンター」と共同のキャリアセミナーをオンラインにて開催した。12 月実施の入学検討者向けの回では 54 名、2 月実施の在校生向けの回では 63 名の学生が参加した。

2) 企業説明会の開催

- ・卒業生による講話…最終学年では企業説明会を開催した。卒業生が就職した企業もお招きし、卒業生が在校生に向けて仕事のやりがいや資格取得へのアドバイスなど行った。



3) 就職の状況

・令和 7 年 3 月 31 日時点

学 科	就職率	就職希望者	就職決定者	進学者	開業・予定
柔道整復学科（午前）	91.3%	23 名	21 名	0 名	0 名
柔道整復学科（午後）	80.0%	15 名	12 名	0 名	0 名
鍼灸学科	100.0%	15 名	15 名	1 名	3 名
こども保育学科（A）	88.2%	17 名	15 名	0 名	0 名
こども保育学科（B）	100.0%	28 名	28 名	0 名	0 名
介護福祉学科	100.0%	26 名	26 名	1 名	0 名
合 計	94.4%	124 名	117 名	2 名	3 名

⑥学校セレモニー&イベント

1) 入学式（4 月 5 日）

・会場：町田市民ホール、出席数：221 名（入学生 174 名中 171 名、保護者・家族 50 名）



2) +αまなびの日 2024（9 月 25 日）

・会場：1・2・3・4 号館校舎、参加数：105 名

テーマ	参加人数							
	保育	介護	柔整	鍼灸	社福	精神	その他	小計
【A】笑うしあわせ／「笑いヨガ」の効能を知ろう	1	9	0	0	1	1	3	15
【B】ありのままの自分～大人の自己肯定感を育てる～	17	0	0	3	2	2	1	25
【C】現役フォトグラファーから“良い”写真の基本を学ぶ！	3	2	0	2	0	2	3	12
【D】柔道整復師とトレーナーの事実と大切なこと	0	1	5	3	0	0	0	9
【E】儲かる治療院の作り方	0	1	4	7	1	0	1	14
【F】「伝わる」文章の書き方	11	6	0	0	0	3	1	21
【G】協調スポーツ（トロピス）への招待	1	3	0	0	2	3	0	9
合計								105

3) 卒業式（3 月 14 日）

・会場：町田市民ホール、出席数：167 名（卒業生 125 名中 117 名、来賓 7 名、保護者・家族 43 名）



(3) 中期計画について

- ・主な事業計画の概要

項目	対象	スケジュール他
施設整備	4号館	R7年度 新学科向け改修工事 (美容実習室、その他)
施設整備 (防音補助事業／防衛省)	2号館	R7年度 第二期改築工事 R7年度 太陽光設備 (R8年2月竣工予定)
施設整備 (防音補助事業／防衛省)	1号館	R7年度 第一期改造工事 R8年度 第二期改造工事 R8年度 太陽光設備
新学科設置 (東京都私学部) 美容師養成所設置 (東京都保健医療局)	美容師養成学科	R7年度 目的変更、学則変更 R7年度 寄付行為の変更 R7年度 指定申請
セレモニー イベント	学園創立40周年 新2号館	R7年度 記念式典計画 R8年度 竣工見学会計画